



ワンポイント

ありえコレジヨホールの語源となった「コレジヨ」もセミナリヨと同様、イエズス会の教育機関の一つです。セミナリヨが、基礎的な勉強をする中等教育機関であったのに対して、コレジヨは司祭を養成する大学です。

このほかにも語学校や画学舎、修練院とも呼ばれるノビシアードなどがあります。それぞれの施設で、学力や年齢に応じた教育が行われていました。

7月26日 — 体験2日目 —

4時30分～ 起床



5時～ 掃除



6時～ 日本語・ラテン語の授業



7時30分～ 朝食、8時20分～ 音楽Ⅱ、9時～ 日野江城下散策



11時～ まとめの時間、12時 解散

セミナリヨで
ローマと若人と
過ごす

7月25日 — 体験1日目 —

13時30分～ セミナリヨに関する基礎知識講話



14時30分～ 茶道



15時30分～ 音楽Ⅰ



18時 夕食



20時10分 就寝

*お茶の時間

「セミナリヨで茶道」と聞くと不思議な気がしますが、セミナリヨでは実際に茶道など、西洋と日本の両方の文化を身につけさせる教育が行われていました。「西洋に詳しい雲の上の人」ではなく、尊敬される身近な人」を育てようとしていたと思われま

*セミナリヨの食事

当時のセミナリヨでは、通常、米、魚などを食べていました。お祝いなど特別な日には、南蛮料理を食べていたという記録が残っています。この日は元シエフの門池修さんが、鴨の蒸し焼きなど、文献を基に当時の南蛮料理を再現。生徒らは喜んで食べました。

*1日の始まり

起床時間は朝4時30分。寮生活をするセミナリヨの少年たちの1日は、早朝の祈りに始まります。畳に布団を敷き寝起きするなど、全てが西欧式というわけではありませんでした。服装も同様で、通

*語学

日本二十六聖人記念館のレンゾ館長から、ラテン語を学びました。セミナリヨでは、ラテン語や日本語、日本文学なども熱心に教えていました。キリスト教を教え広めるためには、しっかりと日本語を話せることが大切だ、と考えられていたからです。また、日曜日には、ピクニックなどの楽しい時間もあ

セミナリヨと ローマと若人と



朝5時に会場の清掃を行う生徒ら。

セミナリヨの2日目。ほんのりと赤く染まる寺の境内を熱心に掃除する生徒ら。400年前のこの地では、5時から清掃をする日課がありました。朝日を久しぶりに見た、という生徒も少なくなく、一時手を止め、朝日に見入る場面もありました。

有馬セミナリヨ

安土（ミヤコ）のセミナリヨと並び、日本最古となる有馬のセミナリヨ。1580年に開校したこの神学校は、シモのセミナリヨと呼ばれ、当初22人の生徒でスタートしました。正確な位置や広さは不明ですが、北有馬町の谷川地区にあったとされ、敷地内には、教会や修道院も設置されたローマに報告されていますから、学校としての機能はかなり高かったと推測されます。また、有馬のセミナリヨは、天正遣

欧少年使節の4少年が、1期生として学んだ施設でもあります。ここでは、ヨーロッパ方式の学校教育が行われていました。

今月は、有馬のセミナリヨと、そこから旅立った天正遣欧少年使節について特集します。



有馬のセミナリヨ跡石柱



有馬と安土のセミナリヨ想像図
「グレゴリオ13世伝(1596)」より
(筑波大学附属中央図書館蔵)

セミナリヨの日課表

	月 曜	火 曜	水 曜	木 曜	金 曜	土 曜	日曜と祝日			
4:30	起床、朝の祈り、ミサ、掃除									
5:00										
6:00	学課の勉強（年少者はラテン語の単語を暗記）					ラテン語 （その週の復習）				
7:00										
8:00	ラテン語 （基本的には、教師の個人指導、上級生は下級生の勉強を見る）									
9:00										
10:00	食事と休憩									
11:00										
12:00	日本語 （読み書きと作文）	日本語 （読み書きと作文）	日本語 （読み書きと作文）	日本語 （読み書きと作文）	日本語 （読み書きと作文）	別荘や 郊外で 遊ぶ ※雨天時は、 室内で休養か 音楽				
13:00										
14:00	音楽（歌と楽器）	祝日のない 週の水曜日 は休息 （音楽の練習も 少しする）	音楽（歌と楽器）	ラテン語 （作文と暗記）	ラテン語 （作文と暗記）		自由時間 （入浴、歌謡、音楽 を行う）			
15:00										
16:00	ラテン語 （作文と暗記）	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間		自由時間			
17:00										
18:00	食事と休養									
19:00										
20:00	ラテン語の復習（年少者は、 日本語またはラテン語の読み書き）		ラテン語の復習（年少者は、 日本語またはラテン語の読み書き）		聖書の講義を聞く 語学練習					
21:00	1 日の反省（良心の糾明）、夕べの祈り、就寝									

ヴァリニャーノは、冬期（10月半～2月中旬）は1時間おくらせ、夏期は休みを増やすように指示している。

参考文献 「八良尾のセミナリヨ」片岡千鶴子「長崎のキリシタン」長崎県教育委員会
「有馬のセミナリヨ」関係資料集 北有馬町
「ヨーロッパ文化と日本文化」ルイス・フロイス著、岡田章雄訳注（岩波文庫）